

## 第10回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会） 議事要旨

■日時：2021年（令和3年）11月1日（月）14:00～15:50

■場所：釧路市役所 防災庁舎5階 災害対策本部室

■出席者：末頁のとおり

### ■議事

- （1）直近3年間の想定スケジュールについて
- （2）釧路都心部まちづくり計画 住民説明会の開催結果報告
- （3）RINK釧路まちづくりラボの活動報告
- （4）釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査の結果報告
- （5）釧路駅周辺の再整備方針について

### ■議題（1）直近3年間の想定スケジュールについて

（高見委員）

- ・鉄道高架事業と土地区画整理事業は、同じタイミングで都市計画決定ということか？

（高野座長）

- ・鉄道高架の完成は2030年くらいか？

（事務局）

- ・土地区画整理も都市計画事業として行うというので、我々としては、街路事業を含めた3事業を同時に都市計画決定したいと考えている。
- ・鉄道高架の事業着手まで約8年掛かると考えている。その後、鉄道高架事業だけで考えると、他都市の事例をみると完成まで5年くらい掛かる認識であり、そこからさらに土地区画整理のことを考えると15年から20年くらいは掛かると想定している。

### ■議題（2）釧路都心部まちづくり計画 住民説明会の開催結果報告について

（高野座長）

- ・今後どのようにして計画内容を周知、あるいは、意見の聴取等を行っていくのか、計画があったら教えていただきたい。

（事務局）

- ・今後も引き続き説明会を開催していくとともに、公式発表はしていないが、今年12月16日に釧路市民500名程を対象としたフォーラムを開催して、この計画をより良く市民の皆さんに浸透させていきたいと考えている。

(高野座長)

・車優先から公共交通と人優先という説明だが、車の利便性は今以上に相当高まるので、局所的な部分での公共交通優先ということだと思う。人と公共交通優先という言葉が独り歩きしてしまうと、妙な誤解を与えてしまって、駅前には車では来るのはあまり良いことではなく、公共交通で来なくてはいけないということではないので、その辺も言い方を工夫したほうが良い。

(松井委員)

・高架の中を通す道路のデザインは説得するというスタンスではなくて、皆さんこういうふうにしたほうが良いですよという共感を持ってもらわないといけない。跨線橋が老朽化していて付け替えるのであれば鉄道を上げて、フラットな道路にしてネットワークを再編したほうが良い。  
・その際に、釧路市の人が集まる場所をもう一度考えたい。人が集まる場所というのは、消費をするとか、何か用事を足しに来るといったよりは、目的は無いけれども人が集まる場所であって、時間を消費する場所である。そうであればどんなデザインが良いだろうかということを考えることが重要。

#### ■議題（3）RINK釧路まちづくりラボの活動報告

(高見委員)

・大学にいて感じるが、学生は4年間とか2年間でほとんど入れ替わるので、OB会みたいなもの同時に作っておくとよいと思う。釧路を離れてしまう子もいるので、残った子が継続的にできる仕組みがあるとよい。

#### ■議題（4）釧路駅周辺及び北大通沿道における交通実態調査の結果報告

意見なし。

#### ■議題（5）釧路駅周辺の再整備方針について

(高見委員)

・新たな土地利用を想定した街区がいくつかあるが、高架下と隣接敷地が別の用途になっている。計画されている新しい高架駅はそれほど幅が広くないので、高架下だけで使おうと思うと結構使いにくいと思う。やはり隣接敷地と一体で使う観点を残しておいたほうが良いと思う。それによって改札を出てから全く雨にも雪にも濡れないで、そのお店なりに入れるという環境ができるので、可能性として検討していただければと思う。

・バスターミナルが高架下にしか整備しないというのは条件を狭めすぎていると感じている。

・高架下バスターミナル中央のスペースが大きすぎる。そこに店舗が入ればいいが、そうならない気がしていて、高架下の一番良いところがスカスカという状態は避けたい。

・高架下に交通機能を集約するのであれば、車を降りた人が濡れずに、冬は暖かいところに入れてそこから駅に行けるとよい。歩行動線を先に設定して、車の空間を確保するようにする。今は余った狭いスペースに歩行者が通るといった印象。

(オブザーバー 北海道開発局都市住宅課)

・今後20年先を見据えての検討ということで、駅まちデザインの手引などを参考に新たなモビリティ（シェアモビリティ等）も検討のなかに入れていただければよいと思う。南北がつながれば、自転車によるツーリズムも可能性があると思うので、そういった機能も持たせられるとよい。

(高野座長)

・従来型のバスターミナルではなく交流空間としての機能も兼ねているバスターミナル（名古屋のオアシス21等）の発想もあってよい。札幌市のバスタでも検討しているが、シェアモビリティなどはどう考えて、どう絵柄に落すかはすごく難しい。そういう意味では、商業施設や交流空間と関連・連携させてつくっていくやり方があるかもしれない。

(松井委員)

・現時点で新しいモビリティについて計画することは難しいので、施設整備を可変型で考えることが重要。新しい交通になったときに変えることができる空間、計画にしておくしかない。

・東京のバスタで決定的に足りていないのが女子トイレ。女性はトイレで着替えをするから、一人当たりの占有時間が長い。だからバスターミナルは、今の新しい動き（着替えをする、パウダースペース、交流スペースを確保する等）を捉えることが必要。今のバスタで何が課題になっているかを調べて、それを反映できるとよい。

・動線の検討は、歩行者、自転車、公共交通、車で必ずトレードオフになる。どう折り合いをつけて動線やレイアウトを考えるかが必要。それがみえてくると、理由をちゃんと説明できるようになる。また、ハンディキャップの方々が非常にアクセスしやすい形も考えていくことが重要。

以上

第10回 釧路都心部まちづくり推進会議（準備会） 出席者名簿

（敬称略）

			役職	氏名
1	委員	北海道大学工学研究院 土木工学部門	教授	高野 伸栄
2	委員	日本測地設計（株）	副社長	松井 直人
3	委員	法政大学デザイン工学部 都市デザイン工学科	教授	高見 公雄
4	委員	釧路市 産業振興部	観光振興担当部長	熊谷 伸勝
5	委員	釧路市 都市整備部	部長	高橋 一浩
6	委員	釧路市 住宅都市部	部長	高木 雅博
7	オブザーバー	北海道開発局 事業振興部 都市住宅課	都市事業管理官	西山 泰幸
8	オブザーバー	北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課	課長	大江 祐一
9	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	課長補佐	高木 広樹
10	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	街路計画係長	柴田 泰孝
11	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	技師	本間 一誠
12	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	道路課長	三城 圭吾
13	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	主査（都市整備）	長谷川 幸一
14	オブザーバー	北海道旅客鉄道（株）総合企画本部地域計画部	主幹	野澤 憲士
15	オブザーバー	北海道旅客鉄道（株）総合企画本部地域計画部	主席	近藤 浩文
16	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	都心部まちづくり担当部長	山中 広徳
17	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	室長	吉岡 亨
18	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	専門員	三上 寛矢
19	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	専門員	吉田 良平
20	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	主任	山下 展